常磐毎日
発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
電(代表)2104番
2105番

会津銘酒
金の雫
山中八次郎吟醸
会津若松市新横町

小川 川内 延長1万6千キロ 1万6千キロ延長

狂犬一掃に乗出す

犬による被害が多発していることから平保健所では狂犬病予防として十一日から管内市町村の予防注射を実施することになった。目標は平市千七百頭、常磐市八百頭、内郷市七百頭、小川町二百頭、四倉町三百五十頭、好間村三百頭、川前村五十頭の計四千三百五十頭であるが、実施しない場合は捕獲班による強制捕獲をして未然に発生を絶滅する。なお手数料は一頭三百円、鑑札再交付百八十円（定期外百八十円）である。日程と場所は次のとおり。

◆三和村▼十一日、永井支所、上永井公民館、下永井小▼十二日、役場前、合戸小▼十三日、上三坂小、渡場小◆内郷市▼十一日、御厩性第院白水三館下▼十二日、高野農協前、町田世話所▼十三日、市役所▼十四日、市役所◆小川町▼十八日、下小川農協小川農協前▼十九日、役場前▼二十日、相川公民館、館公民館えだ駅前◆常磐市▼十八日、三沢区長宅上矢田出張所▼十九日、藤原小磐崎出張所▼二十日、西区世話所、小野田診療所▼二十一日、鹿島鉱業所、舘ケ沢世話所▼二十二日、下浅見世話所、合ノ山世話所▼二十五日、泉海岸張所、市役所▼二十六日、市役所◆川前村▼二十一、二十二日、役場◆好間村▼二十五日、古河炭鉱▼二十六日、役場前、第二小▼二十七日、内ノ倉作業所、下組作業所▼二十八日、小田炭鉱診療所、大和小◆四倉町▼二十五日、役場前、本田昆布屋前▼二十六日、大野鍛場前、ポンプ小屋前▼二十七日、名木八万前、大浦支所◆平市▼五月二日、草野、神谷両出張所▼四日、豊間、夏井両出張所、沼之内公民館▼六日、高久、飯野両出張所▼九日、赤井国保診療所、平鎧鍛場前▼十日、松館稲荷前▼十二日、新川町大神宮▼十二日、市公会堂

初の訓練手当支給

日下さんら二人に

炭鉱離職者に職業訓練手当支給の認定があった。炭鉱離職者援護会平支部が発足して初の認定である。

平支部長から五日付で認定されたのは内郷市綴町宇畑坂穴の元常磐炭鉱採炭夫日下治さん(三七)と小川町上小川字湯の沢四一の常磐炭礦採炭夫だった関井良雄さん(三七)の二人。去る一月十一日から三月一杯、内郷市御厩にある石城地方職業訓練所夜間部に入所して自動車の整備と運転を習得、訓練期間六十二日間で八千六百円がそれぞれ支給されることになり、援護会平支部長から本部に申請された。この県予選に第十四回民族舞踊まで同援護会平支部が扱ったのは指定地区外に再就職した炭鉱離職者の移住資金だけで、訓練資金の支部認定はこれが初めて。

洋式庭園が完成

四倉中で新入生に贈る

【写真＝完成した庭園】

四倉中学校のP.T.A.（部長・）は本多繁然氏）では去る三十三年十月から同校中庭に洋式庭園を再設していたが、このほど立派に完成した。

この洋式庭園は校舎に四倉町伊町船主長谷川西次郎さんから一万円の寄贈があり、ヒマラヤ杉、日光杉葉、ユツカラン、三段咲などと約五十本の樹木を購入、庭園のブロック積みには全PTA約七十人が労力奉仕などもあり、六百六十平方㍍（二百坪）という大きな庭園である。

庭園内部は松本校長の考案により中央に噴水、周囲に植樹され

平凡 銘酒 一人残さず

これらの洋式庭園はことし入学した四百七十人の生徒に入学を祝福して贈られた。

商工カーニバル

内郷さくら祭り行事

内郷市商工会と観光協会では三日さくらまつりの行事について打合会を開いた結果、十日の商工カーニバルなど行事を次のように決めた。

◇ヘルスセンター招待大売り出し（五日―二十日まで）◇商工カーニバル（十日）◇常磐炭礦山神祭（十六日から三日間）◇駅前広場で組木市（十六日）

なおカーニバルは午前九時から金坂派出所まえを出発して宮―小平―内町―湯本―小島―御台場―小島―御厩―綴のコースで市内パレードを行い、正午からヘルスセンターで表彰式を行う。

常磐市で観光診断実施

常磐市では五日から三日間の予定で県大蔵技術吏員吉田昇、県大蔵部旁島吃氏を招き温泉開発を中心とした都市計画、観光診断を行なう。

市ではこの結果に基づき四月末か五月初めに臨時市議会を招集、往目の白鳥温泉開発の具体案を協議する。

10年振りに開通

××雲の上のハイウエー××

観光面でも利用高い

浜通りで一番長い乾鬼盤（きつとや）山の峠ぞいに小川町と双葉郡川内村を結ぶ開拓道路、上小川線が完成した。戦後の開拓道路は浜三郡で二番目に長い道路である。この道路は去る二十四年度に県営工事で着工してから海抜八百メートル以上の乾鬼盤山の峠ぞいに小川町字内倉地内から川内村と結ぶ総延長一万五千九百六十キロを三月末日で完成した。区間は補が二十カ所、暗きょが五十九カ所のほか山と谷をきり崩すという難工事であり、道路に吸きつめた砂利の量が六千九十五、二五立方メートル。着工以来十年間で二千九百六十一万五千余円の巨費を投じている。全区間とも平均三メートル巾で千メートルごとに自動車の交差個所を設け、すでに小川町十文字地内までトラックが通行され、山脈にさえぎられてきた石城、双葉両郡の物資の交流がはじまっている。この道路は石城地方の開拓道路としては最大、長道りである阿武隈横断道路に次いで二番目に長い道路となった。（写真、十年の才月を経てやっと完成した開拓道路、小川線）

志賀さんら表彰

メートル法優良実施

平市ではメートル法公布を記念、近く優良業者を表彰する。これは、平市メートル法実行期成委員会委員として商品の適正標示、メートル法の指導などを行ってきたもの。

小沼武雄（一丁目八、小沼茶店）志賀盛栄（四丁目鬼田場小売店）矢田部力（田町一、丸共果物商場卸商）斉藤六三郎（南町七八マルサ青果市場小売店）

七人に奨学金

四倉教委決る

四倉町教育委員会は二十日後一時から役場会議室で開き、三十五年度奨学金の貸与生について選考した結果、希望者七人全部に給与することを決めた。

奨学金は月額一千円で新規五三郎奨学金、平工高金子文男（四倉中出身）＝四倉町上仁井田東山、四倉高校藤原与四郎（四倉中）＝同中町、磐城高校谷川七郎（大野中）＝同町御厩、平商高川崎すみ子（四倉中）＝同上仁井田南越田、平工高佐藤勝昇（大野中）＝同町込大久保、四倉高校橋ユウ子（四倉中）＝同町、東北大工学部四年生（磐城高）＝新町。

16日から常磐の山神祭

常磐炭礦山神祭は十六、十七、十八日の三日間各礦別に行われるが、行事予算総額が三百五万円に決まった。内訳は鎮座五十三万円、内郷六十七万円、鹿島三十万円、磐崎三十万円で主な行事は山神社一周駅伝競走四万円、打ち上げ花火大会十万円、双葉大会六十六万円野球大会三十三万円となっている

10日平の公会堂で

花柳登代晴舞踊温習会

【写真＝花柳登代】

平市全市の桜まつり協賛の第二回「花柳登代晴舞踊温習会」は十日午前十一時から市公会堂本館で開く。この舞踊は花柳登代蔵氏が初師事するほか花柳登代栄、登代子、登代仁、登代郎、登代好潤の各氏が賛助出演する。普通は波の上など五十一曲となっているが、主な出し物は次のとおり。

一波の上」花柳登代蔵「宮の鶯」花柳登代「鶴和男、腰田誠一▼照葉、木村誠志「藤娘」鈴木雄美、岡村路子「日傘踊」青田昌勝子「娘成寺」金成きよ「五万石の千守護」鎌田昭治、高島登郎。

人気呼ぶキウリ

ビニール栽培大当り

磐城市、渡辺温泉研究会（渡辺剛会長）が、ことしからはじめたビニールハウス栽培のキュウリが、すばらしい成長ぶりをみせ磐城市の青果市場で人気をあつめている。

ビニールハウスの経営者は市の松小屋、田部、屋野地区の十二農家。市農政課と県技師の指導で昨年夏、群馬をたて県の融資百万円をもとに合計三千三百平方㍍（一戸当り平均三百三十平方㍍）のビニールハウスを共同で建設し、さる一月四日タネをまき二月十八日定植した。第八回の収穫は開催で二月二十八日に開花し、三月十五日から出荷している。

同研究会は京浜市場への共同出荷になやみ、品種を〝春ドリ〟に統一し、毎日磐城市と常磐市の青果市場へ一戸当り平均五キロ（三百本一四百本）ずつ出荷しているが、非常に評判がよく東京の銀座市場からの注文が舞い込んでいる経営内容も計画通り進み、ことしには組織資金（三百三十平方メートル当り六万円）を返済できる見込み。会員たちも将来は〝磐城キュウリ〟として共同出荷したいと大はりきり。

内郷で植樹祭

内郷市では十一日、市内宮町上原処理場付近の山林で緑樹祭を行う。沼田市長、農林課長が参加して杉苗、シバなど六百本が植えられる。

平第二高校合格者

▽一年普通科　田久保一　粟河江悠平子ハル子　馬場陵一　新妻雅子　村上征勝　松崎正徳　梅原　聡子　栗地恒夫　賀沢良夫　鹿山ケイ子　根本真照　高橋良雄　水竹　滋枝　吉田勝二郎　西　清次　荒井誠吉　山岸幸子　矢吹照夫　堀田　重次　川越俊和　金山雪枝代子　佐藤貞夫　小林四郎　鈴木暁子　武井　弘次　柳内正雄　阿部登二郎　松崎マサ子　鈴木昭男　田原芳之　桜井　登昭　鈴木郁太郎　国井　博　伊東昌子　高橋芳雄　大和田泰雄　草野芳金　渡辺　章　供藤宗己　鈴木シツ子　伊知川幹子　渡辺豊　白土長太郎　佐藤　寛　志賀正男　舟野　孫宏　箱崎敏子　松崎芳雄　平山　真英　鈴木主節　秋葉良次　小林　正美　星山静子　菅木照子　渡辺　良英　菅野みさ子　佐藤一三　酒井浩一　森山勝男　新妻陳夫　猪狩　秀昭

▽二年普通科　荒　貞子

▽三年商業科　渋谷勝彦

常磐で青年教室開講

常磐市教育委員会は高校入試に不合格になった中学生のため来年の進学のため学力向上を図る学習教室を開いてすでに五年、三十五名を近く開室することになり四郎館を進めている。

ことしの不合格者は市内だけで三千余名に達している。従来の成績では高校進学九十六％という好率を示しており、内郷、磐城、遠野、山田方面からも入室している。本年も市外地域の入室希望者もいれることになっている。月謝は三千五年度から八百円で入室希望者は市教育委員会に申し込むこと。

話のツボイ

【ハンブルク＝DAD】北ドイツ外科医会の第八十四回会議で、近代医学の進歩について肝臓の外科的治療の話題が取り上げられた。

肝臓は多数の部分から出来ており、その一つ一つの部分がそれぞれ独自の他の部分と関係のない血液の分布を受けているだから、その境界を明らかにすれば、これまで不可能と思われていた肝臓の悪性腫よりの切除も多くの場合可能になる。そして、残った部分が肝臓の機能を十分に果すのである。

キール市の医師一グループは、栄養障害やアルコールの過飲、習慣などのため生ずる肝硬縮の問題に取り組んで興味を行った。家兎に肝硬縮を人工的に起きせ、三週の大きさの〝肝〟を流れる〝血〟をもつた〝主肝〟と通じて後頭の静脈は収縮し、血液を供給する血管を遮断し、血液を供給する血管の幹をもつた。そうすると肝を流れる血は減少したが、主肝は死の転帰をとる。

＝半分の肝ぞうで生活できる

血管と細胞を再生し、手術後は大きくなり、かん臓全部の仕事を十分に行つた。しかし、新しい方法を用いた動物実験における成功が、人間に適用出来るかどうかはまだ疑問である。

今日かん硬縮には、古い方法が用いられている。このやり方では、しばしば五〇リットル以上もの腹水を二、三週間のうちにかん硬縮の患者の腹腔から取ることがあるが、これは病症を

ハンブルクの外科医会議の報告で明らかにされたところによれば、今日では簡単に「主流抜去」を開き、門脈を静脈に結紮して流れを変えることにより、この病気から逃れることが出来る。血液はこの副道を通つて下腹や消化器から右心に戻つてくる。かん臓における解毒作用の脱落があるにも拘らず、驚いた事症は現われないし、かん臓の栄養障害は殆ど認められない。

かん臓の栄養障害は殆ど認められないというが、今日では簡単に「主流抜去」を開き、門脈を静脈に結紮して流れを変えることにより、この病気から逃れることが出来る。血液はこの副道を通つて下腹や消化器から右心に戻つてくる。かん臓における解毒作用の脱落があるにも拘らず、驚いた事症は現われないし、かん臓の栄養障害は殆ど認められない。

かん硬縮による門脈圧亢進症状は、胃腸静脈の血液を、門脈を通じてかん臓に送る血管の血行障害を起すため、血液を細いが血管壁を通じて腹腔に送つてしまうためである。これに関連して食道下の静脈は収縮し、そこに静脈瘤を生ずるを見る。更に血液中の蛋白質が減少し、ついには死の転帰をとる。

起したかん臓は循環障害をもたらし、胃腸静よりの血液を、門脈を通じてかん臓に送る血管の血行障害を起すため、血液を細いが血管壁を通じて腹腔に送つてしまうためである。これに関連して食道下の静脈は収縮し、そこに静脈瘤を生ずるを見る。更に血液中の蛋白質が減少し、ついには死の転帰をとる。

ハンブルクの外科医会議の報告で明らかにされたところによれば、今日では簡単に「主流抜去」を開き、門脈を静脈に結紮して流れを変えることにより、この病気から逃れることが出来る。血液はこの副道を通つて下腹や消化器から右心に戻つてくる。かん臓における解毒作用の脱落があるにも拘らず、驚いた事症は現われないし、かん臓の栄養障害は殆ど認められない。

今日、ハンブルクの外科医会議の報告で明らかにされたように、せん縮と閉塞をともなう胆石を、決定的に治療することが出来る。

癌その結石は化学的な物質によつて溶かすことが出来るようになつたが、胆石の場合はこれまで不可能であつた。また手術の際でもしばしばかんそうの内部の細い胆管のよりよい血流状態を作り、かんそうの病気を軽くしてやり、更に新しいもつと改良された血管の連絡を作れる

常磐毎日新聞
（第三種郵便物認可）（一部売5円●一カ月100円（定価））

文想感書読

なんだかなにもしたくなかった。なにもおもしろくなかったし、おもしろくあろうとしているのかわからないようだ。そんな歩くのさえ億くうな時、僕はふらりと図書館にでかけて行って無題に本をとりだして読んでみたのが、この「君達はどう生きるか」なのです。

二、三ページをめくっているうちにおもしろくなり夢中になって読み始めました。僕が一番感に入ったことは哲学的にくどくどと書いてなかったことです。コペル君という あなたの中学生を中心に起る物語をもとにして、現在の中学生はどのような道を辿まなければならないかが、わかりやすく、おもしく書いてありました。まるで僕はコペル君自身になっているような感じです。というのは、僕達中学生が常に持つだろう悩みをいろいろな方面から考えているからです

僕の考えはこの本を読むことによって一変しました。人間としての生きる道を考える力が僕の心中に湧きあがって来たのです。僕は今まで通ってきた道に反省と後悔のくいを打ちこみそして曲った道を少しずつ真すぐな道に変えていくそんな生事があの本をよんでから続けられているようです。そして君たち中学生はもう子供じゃない。これから日本をせおって立つ人間なのだ。くよくよするな。こせこせする勇気をもって正しい道を邪むのだ…とまるで本が話しかけてくるようなのです。この本の主人公のコペル君とは中学二年一学力は優秀ですが大変無口でせっせと勉みなげればならないうさんがいなくてもコペル君は自分を読んだとき、古さが胸のそこの様な気持でした。あの時はやくてになり、よかい人がりして正しく導いてくれたおじさんやおじさんでした。おとびしい感じはなんともいえなくいやなものでした。僕はそこを通まなければならないと考えました。その時の暗いさ

「君達はどう生きるか」をよんで

平一中一年　熊坂祥二

人の使命の大きいことにびつくことにいたり、一人一人の使命の大きいことにびつくことにいたり、一人一人の使命の大きいことにびつくことにいたり、一人一